

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員間での事業所理念の共有が不十分であり、自分達の理念になっていない	日々のケアの中から自分達の言葉で、自分達が実践できる理念を作り上げる	職員アンケートを実施し、自分達が目指すケア、大事にしているケアについて職員会議で話し合いを重ね、誰もが解る平易な言葉で理念を作成する	12ヶ月
2	6	身体拘束をしないケアの実践について、研修が不十分であり、日々のケアの中での言葉使いや玄関の施錠についての話し合いが十分になされていない	職員が身体拘束について真に理解できる	職員全員が一度は、身体拘束についての研修に参加し、各自が伝達研修を行うことによって身体拘束についての理解を深める。そうした取り組みの中から日常的な言葉使いや玄関の開錠へ取り組む意識付けを行う	12ヶ月
3	26	介護計画に沿って日常的にケアを実施する事がまだ不十分である。ケアでの気付きや情報を職員間で共有する事で次への計画に発展させて行きたい	職員が介護計画についての理解を深め、今本人が出来る事を軸に楽しみづくりを支援して行く	個々の利用者の担当者が介護計画書を把握し、今出来る事・楽しみにしている事などを日常的に情報収集しケアマネとも話し合いを重ねる事で他職員へも情報発信できるようにする	12ヶ月
4	35	夜間想定避難訓練が実施出来ておらず、職員が避難についての手順等について熟知出来ていない	避難誘導がスムーズに行える 夜間想定避難訓練が出来る	実際に避難誘導を実施し、問題点や課題を明確にし、具体的なマニュアル作りを行う 地域運営推進会議で夜間想定避難訓練を実施し、地域の方の協力やご家族の協力も得られるようにする	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。